



2024年12月26日号
冬季号

vol. 70

健康的な天然木材の床

フローリング・ニュース

発行所：一般社団法人日本フローリング工業会
編集責任者：広報法務委員長 石本勝範

〒112-0004 東京都文京区後楽 1-7-12 林友ビル 6F
TEL 03-3868-0971 FAX 03-3868-0972 <https://www.j-flooring.jp/>

12月理事会は昨年に引き続き大阪市で開催

令和6年12月4日(水)

昨年、初めての試みとして大阪市にて理事会が開催されましたが、今年も12月4日に大阪市（TKP ガーデンシティ PREMIUM 心齋橋：大阪市中央区南船場）にて理事会を開催しました（参加26名、うちリモート参加10名）。

冒頭、田伏会長が、「今回で2回目の大阪理事会を開催でき、中村支部長や関係各位のご尽力に感謝申し上げます。今年は能登地震、宮崎地震があり南海トラフの緊張度が増した。ウッドショックや近年の物価上昇など、経営者の皆様には何重ものパンチがあったこの数年間であった。来年はどのようになるか予想もつかないが、皆様と情報を共有して本会運営を進めていきたい。」とあいさつしました。

議事の内容は、両部会からの活動状況の報告、新入会に関する事項、合同PRの報告、工業会統計の見直し検討、来年度総会開催案、令和6年度決算見込・7年度予算案についての説明などが審議され了承されました。

また、理事会後は昨年に引き続き関西フローリング協会と共同で24名が参加して懇親会を開催し、さらに翌日には懇親ゴルフ会が催され（写真は3面に掲載）、関西のフローリング関係者との交流を一層深めることができました。



＝あいさつする田伏会長＝

施工流通部会総会が10月に開催される

令和6年10月16日（水）



＝外瀬施工流通部会長＝

施工流通部会総会が10月16日（水）にホテルオークラ新潟（新潟市中央区）にて32名が参加し開催されました。最初に開催担当支部長である森関東甲信越支部長から開会の辞があり、次いで総会議事に先立ち、外瀬施工流通部会長から、「昨年からの為替レート変動、戸建ての減少などいろいろあって、深刻な状況になっている。本日は情報交換を行ってよりよい業界につながる会議としたい。このような状況下ではあるが明るい集いとしたい。」とあいさつがありました。

議事では、部会の活動報告と今後の予定、各委員会報告、決算報告があり、いずれも了承されました。議事に次いで事務局報告、情報交換（各支部からの報告）を行い、これら全事項終了後に田伏会長から「この会議は次世代につなげていくべきものであり、大切に継続していきたい」とのあいさつがあり、最後に開催地元（新潟市）を代表して新潟フローリングの関口社長から閉会の辞があり終了しました。



総会後に、Pace Design 代表の中村節子様を講師として「多様化するコミュニケーション～良好な関係を築くには～」と題した講演会があり、講演会後の懇親会では、講演会のコミュニケーションテストなどの話題で大いに盛り上がりました。

セブンイレブンが店舗等の木質化を進める協定を締結



株式会社セブン-イレブン・ジャパンは、農林水産省と8月20日に建築物木材利用促進協定を締結しました。同協定制度は、令和3年度にできた都市（まち）の木造化推進法に基づき、事業者等が建築物における木材利用を促進するために国又は地方公共団体と協定を締結することができる制度です。協定締結により相手方の政府・地方公共団体からの支援が可能となるほか、メディアにて環境意識の高い事業者として社会的評価の向上に繋がるなどのメリットがあります。

セブン-イレブンは、新たに出店する店舗等で地域材を積極的に活用した木造化・木質化を推進することとしています（目標：約1,375m³=25店舗/年×11m³/店×5年間）。

昨年2月に日本マクドナルド株式会社との協定締結も話題となりましたが、セブンイレブンは国内におよそ21,600の店舗数があり（マクドナルドは3,000店舗弱）、顧客層も広いことから、商業施設の木質化への高い波及効果になると期待が寄せられています。

生産部会総会が11月に開催される

令和6年11月12日（火）

生産部会総会が、11月12日（火）に木材会館（東京都江東区新木場）にて10社13名が参加し（その他来賓等が5名参加）、2年ぶりに、部会単独では5年ぶりに開催されました。

冒頭、市川生産部会長は、「昨年の生産部会会合はウェブミーティングのみで、リアルでの総会は2年ぶり。この2年で物価高、人材不足、海外経済状況など外部環境が変わってしまった。各社の状況は、地理的位置、生産品、需要先などによって違うのだろうし、コロナ禍を挟んで我々の足並みにばらつきが生じている感もある。しかし、業界の方向をどのように進めればよいかは皆で話し合って提言をまとめていきたい。」とあいさつしました。

議事では、合同PR、海外メーカーの入会希望、工業会の統計、行政施策対応、各社からの業況・地域状況報告、今後の活動などについて、活発かつ積極的な意見交換がありました。

議事後は、スポーツ施設協会屋内フロア一部会（三洋工業(株) 寺園様、(株)WITHフローリング 小林様の2名）を招き、現在フロア一部会で検討しているスポーツ施設の木質床材メンテナンスサイクル等に関する懇談を行いました。

総会終了後は会場近くで懇親会を開催し、総会資料に添付されていた過去パンフレット掲載の生産部会主要メンバー執筆陣に関する話題にて花が咲くなど、久しぶりの生産部会総会懇親会で交流を深めていました。



=市川生産部会長=



12月理事会翌日の
懇親ゴルフ会



天気にも恵まれ関西フローリング協会メンバーとの交流を深めることができました

九州支部だより

東 宗一郎 九州支部（株式会社日東）

皆様いつもお世話になっております。今年度より九州支部長を仰せつかっております 東（ひがし）と申します。前任者である(株)平川木材工業 平川支部長からバトンを引き継ぎました。会員の皆様には多大なる感謝を申し上げますとともに、業界の更なる発展の為、まだまだ若輩者ではございますが支部長という任を精一杯務めさせていただきたいと思っております。

さて、今年は住宅着工戸数の大幅なダウンが去年から続いていることや我々を取り巻く建設業での倒産件数は過去最大の件数に上る見込みだと予測されております。しかし、会員の皆様とお話をさせていただくと、様々な工夫をされ今までにない製品や施工方法など不況に立ち向かっていることを感じるこ

とができます。そして会で作成しているフローリング張り標準仕様書に関しましては我々生産部会も大変勉強になる教科書となっており、体育施設などでの木質化の推進と施工の安定性や技術の向上につながれば良いと考えております。

今後なお一層、会員企業の皆様とは情報交換を密に行い、この不況に立ち向かい、お互い切磋琢磨し、業界発展へ繋がっていけばフローリング工業会の存在意義となるかと思います。今年度残り少ない日数となつてまいりましたが、安全第一で頑張っていきたいと思います！

安全+第一



ひとこと

平川 和彦 九州支部（株式会社平川木材工業）

早いものでもうすぐ師走 何となく気ぜわしく感じる季節になりました。

以前の博多の町はこの時期になりますと大相撲九州場所が開催され、お相撲さん達を博多の町中で大勢見かけてました。又、この時期は高級魚のアラ（クエ）が美味しくなるので九州場所の時期はアラの相場があがっていたものでした。

しかし、コロナ禍後の現在では天神を中心とした天神ビックバン、博多駅を中心とした博多コネクティッドの再開発事業も終盤に差し掛かり、福岡市中心部は非常に綺麗になり緑も多く活気に満ち溢れた町になりました。

又、その為かインバウンド客も多く、福岡空港国際線はアジアからのお客様で溢れかえっています。有名な観光スポットではここは日本なのかと思われる所もある次第です。我々の業界においては非常に厳しいものがありますが社会の変化に対応しながら我々も変化を重ねて乗り切っていきたいものです。

会員の皆様、福岡はとても美味しくリーズナブルな食べ物が沢山あります。皆様 是非福岡にいらして下さい。ご招待は出来ませんが、ご紹介ができますよ。



●広報法務委員

- 委員長 石本 勝範
委員 佐藤 仁明 委員 矢野 伸和
委員 清見 謙造 委員 當舎 弘造

●会員動向 令和6年12月1日時点

Table with 2 columns: Category (正会員, 賛助会員, 合計) and Count (45社, 17社, 62社)

●告知板

3月6日(木) ...令和7年度通常総会(東京)

編集後記

2024年は大谷翔平選手が50本塁打、50盗塁を達成し、新札が発行されるなどの話題もありましたが、地震が続き、政治・世界情勢の不安定化が増し、経済状況がパツとしませんし、政府の産業界への規制強化の動きも目立ちました(クリーンウッド、シックハウス、建築基準法、JAS、トラック輸送..etc.)。このため会合での事務局報告は暗い話題ばかりになってしまいました。でも、会員の皆さん方が元気で明るいのはホント救いに感じました。そんな一年でした。

